

## マタイの福音書 5:1-12.

八の至福—約束されている祝福。(2)  
神のみこころに沿った悲しみと慰めの祝福。

5:1 この群衆を見て、イエスは山に登り、おすわりになると、弟子たちがみもとにきた。5:2 ここで、イエスは口を開き、彼らに教えて、言われた。5:3 「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。5:4 悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。5:5 柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐから。5:6 義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるから。5:7 あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから。5:8 心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るから。5:9 平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。5:10 義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。5:11 わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。5:12 喜びなさい。喜びおどきなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々はそのように迫害したのです。

### はじめに

イエス様の教えはよく人間の普通の常識をくつがえします。特に山上の垂訓という箇所はイエス様の代表的な教えです。先週に見た八の至福の1番目と今日の2番目も人間の常識では考えられません。

マタイ 5:4 「悲しむ者は幸いです。」

普段はそんな教え方をしたら、誰も真剣に聞かないはずですが、山上の垂訓の教えの最後に「群衆はその教えに驚いた。というのは、イエスが、律法学者たちのようではなく、権威ある者のように教えられたからである。」(マタイ 7:28-29) 人間的な権威ではなくて天国の権威を持って教えられたという意味です。律法学者たちはこの世の地位の権威を持っていましたが、イエス様の権威はそれをはるかに超える素晴らしい天国の権威です。敵対していた人達もイエス様の教えを聞いて認めざるを得なかったのです。「あの人が話すように話した人は、いまだかつてありません。」(ヨハネ 7:46) 2000年経ってもそれは変わっていないし、これからも永遠に変わりません。イエス様は生ける神のことばそのものです。聖書でその名前と呼ばれています。

短く復習します。2週間前から、イエス様的人格の美しさを特に八の至福を通して一緒に見ています。この教えはただの模範としてだけではなく、具体的にどのようにして神様は信者の一人一人の中でそれを実現して下さるかを学ぶ為に見ています。神様に認められる為にも、神様との関係の中で生きる為にも、第一に、人は神様に対してへりくだる必要があります。「心の貧しい人は幸いです。」自分の努力や自分の能力によって認められようとする思いを捨てて「神様、罪人の私を憐れんで下さい。」という祈り心でイエス様を救い主として個人的に受け入れなければなりません。それによってその人は、天の御国に所属して天にあるすべての霊的祝福を与えられます。「天の御国はその人たちのものだから。」次の2番目に進みます。

### 1. 神のみこころに添った悲しみ。

4節「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。」を一緒に見ていきましょう。

もちろん、正しく解釈する為に文脈の中で読む必要があります。この教えは全部神様の御国に関係する教えです。最初と最後に「天の御国はその人たちのものだから。」とあるのは、イエス様が私達と神様の関係について教える為に話しています。最初は神様に対して謙遜になることで、次に、神様に対して悲しむ事を教えています。

第二コリント7:10「神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。」

ここに、二つの全く違う悲しみについて書いてあります。世の悲しみは死をもたらすから、それには何も幸いな事はありません。もう一方は神のみこころに添った悲しみで、それは救いに至る悔い改めを生じさせます。ですから、イエス様がその悲しみについて「悲しむ者は幸いです。」と言われるのはもっともです。

最初に、人が神様に近づくなれば、神様はその人に近づいて下さいます。  
ヤコブの手紙4:8「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいて下さいます。」  
イエス様の山上の垂訓の教えに戻りますが、へりくだって神様に近づく人には神様が必ず近づいて下さいます。それが素晴らしい慰めなので、幸いです。後でその慰めについて、もっと話したいですが、その前に神様は人に近づいて下さる時に、どうなるかを説明したいです。  
神様は聖なる方ですから、人間に近づいて下さる時に、まずその人は自分の罪深さを自覚出来ます。それで人は初めて罪を悔い改める事が出来ます。人間は人に対して悪い事をしたら、罪悪感や罪意識が生じますが、それだけでは悔い改める事は出来ません。普段は神様に対して罪を犯している意識はないなら、悔い改める事が出来ません。その結果、罪の奴隷になってしまいます。神様に対して罪を犯したと自覚することによって初めて悔い改める事が出来ます。  
ヨハネ8:34「イエスは彼らに答えられた。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。罪を行っている者はみな、罪の奴隷です。』」  
ヨハネ16: 8-9「その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。」  
ここでイエス様は真理の御霊と呼ばれている神様の聖霊の働きについて話しています。  
人間の出来る事を神様が代わりになさることは絶対にありません。怠け者を作るのは神様の働きに含まれていません。一方、幸いなことに、人間が自分で出来ない事を神様はして下さいます。神様の聖霊が人に働く時、その罪を認めさせて下さいます。その目的は苦しめる為ではなく、赦して清め、解放する為に働いて下さいます。それで、皆さんは自分の愛する人の救いの為に祈る時に、この聖霊の働きをお願いする事が出来ます。

個人の証。

9節。イエス様は聖霊が人に罪について認めさせる時に「私を信じないから」と教えています。つまり、最初に不信仰という罪について認めさせて下さいます。普段、人間は不信仰を罪として考えていませんが、聖書ではこれが人間のすべての罪の一番根本的な問題と教えています。少し神学的な話ですが、不信仰という罪がなかったら、他の罪は存在しません。アダムとエバは神様の言葉を信じなかったから、罪を犯しました。そして罪の存在が初めてこの世に入ったと聖書で教えられています。神様の存在を疑ったわけではありません。だから、不信仰という罪は神の存在を疑うことではありません。悪魔と悪霊どもでも神様の存在を一刻も疑う事なく、それを信じて身震いをしていると聖書に書いてあります。不信仰という罪は神様を求めようとしない事です。神様はみことばを与えて下さっているのに、そのみことばを通して求めないで、自分で自分の生き方を決めたい事です。一番簡単な言葉で言うなら、神様から離れて生きる事は不信仰です。その罪の為に人は裁かれて永遠の滅びに向かっていってしまうのです。聖霊が人に働いて罪を悔い改めさせる時に、まず不信仰を悔い改めてイエス様を信じるように導いて下さいます。  
イエス様が最初に教えた場面は、マルコの福音書1:15です。「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。」もちろん、福音とはイエス様による罪の赦しです。

## 2. 神のみこころに添った慰め。

4節「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。」

後半の慰めについて話しましょう。

この箇所が一番幅広い解釈をすれば、人間のすべての慰めは神様から与えられていると言えます。第二コリント1:3-4「私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にも慰めることができるのです。」

「すべての慰めの神がほめたたえられますように。」と書いてありますから、どんな方法で与えられても、人の言葉や、音楽や、自然の恵みによって慰められる事もあると思いますが、その背後に神様が働いておられるので、聖書の神様は全ての慰めの神様と呼ばれています。  
イエス様の山上の垂訓に書いてある神のみこころに添った悲しみに対して与えられる慰めについて説明します。既に少し触れましたが、人間の体験出来る最大の慰めは、神様によって自分のす

べての罪が赦された確信を与えられて、心の底から平安で満たされる事です。神様からの平安です。

ピリピ人の手紙4:7「そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」

イエス様はこの神の平安について次のように話しました。

ヨハネ14:27「わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。」イエス様しか与えられない神の平安とこの世が与えるものと何が違うのでしょうか。それは、生活事情によるものではなくて上から与えられる平安です。生活事情が最悪の時でも、心と精神を守ってくれる平安です。もちろん、お金で買えないし、薬によっても得られない宝物です。

イエス様がこの平安を約束して下さった時の文脈を見て下さい。27節の直前の26節です。

14:26「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。」助け主と訳されている言葉の原語のギリシア語の単語は、慰め主と訳す事も出来ます。イエス様は自分のすべての信者に与えられる賜物である真理の御霊について語っておられますが、その働きの一つは慰める為の働きです。だから、先に言っていた罪について認めさせる働きは苦しめる為ではなくて、罪の赦しによって体験する平安です。これが人間の体験出来る最大の慰めです。それについて、先週にも話しましたが、罪の赦しによって私達は神様の子供として天の御国に所属するようになります。あなたがたの名が天に書いてある事を喜びなさいとイエス様が言った時、天の御国はあなたがたのものですと教えて下さっています。

別の聖書箇所ではイエス様は天国について話した時に、それは慰めの場所だと教えておられます。そして黙示録には神様が私達のすべての涙をぬぐい取って下さる場所だと記されています。

という事は、この地上の最大の慰め（罪の赦し）と天国の慰めとは直接的につながっています。それと同じようにイエス様の八の至福は全部深くつながっているから、文脈の中で解釈するのが大切です。

### 3. みこころに添ったもうひとつの悲しみ。

八の至福はイエス様の美しい人格を表していると言いましたが、誤解しないで頂きたいことがあります。イエス様は自分の罪の為に悲しむ事はありませんでした。全く罪のない方ですが、私達の罪の為に悲しんで下さったのです。

イザヤ書53：3「彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。」

神様は預言者を通してイエス様が生まれる700年ほど前に救い主として生まれるイエス様の特徴の一つとして「悲しみの人」と呼んでいます。

私達はイエス様の信者になってから、人の救いの為に祈れば祈る程イエス様の悲しみに共感することが出来ます。聖書に書いてある一番の実例は使徒パウロの体験です。

ローマ人への手紙9:2-3「私には大きな悲しみがあり、私の心には絶えず痛みがあります。9:3もしできることなら、私の同胞、肉による同国人のために、この私がキリストから引き離されて、のろわれた者となることさえ願いたいのです。」使徒パウロはイエス様の心と一つになっています。先週のメッセージの最後にイエス様は私達の為に呪いとなって下さって全ての呪いを祝福に変えて下さったと言いました。パウロはそのイエス様の悲しみに対する深い共感を体験していました。

イエスと結ばれている私達はイエス様の悲しみに共感する事によってより深く結ばれていきます。人間関係でも、相手の喜びを共に体験する事よりも、相手の悲しみを共に体験する事によってより深くその人と結ばれます。その意味で使徒パウロは次の言葉を語りました。

ピリピ3:10「私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、」

パウロは教会の歴史で誰よりもキリストの苦しみを共有することを体験しましたが、それでも、増々キリストの苦しみにあずかる事を深く知りたかったです。それはイエス様ともっと深く結ばれてもっと深く知りたいからです。キリストを知れば知る程もっと深く愛するようになるからです。その手前の8節も見て頂きたいです。

ピリピ3:8 「それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損とと思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。」クリスチャンになるまで自分にとって一番大事だった事、自分の国の伝統とそれに対する自慢をイエス様の知る事の素晴らしさのゆえに喜んで捨てる事が出来るようになりました。

ピリピ3:20 「けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。」イエス様を知る事によってここまで価値観の変化を体験しています。

### まとめ

誰でも普段は悲しみを避けたいですが、イエス様が教えているみこころに添った悲しみには否定的なものは全くなく、神様の祝福で満ちています。

「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。」というイエス様の言葉は本当に深い意味があります。

最初のみこころに添った悲しみは自分の罪の為の悲しみですが、神様の慰めを知れば知る程、イエス様の十字架に対する感謝の気持ちで心が満たされます。

その次のみこころに添った悲しみは、人の罪の為に悲しまれるイエス様の悲しみを知れば知る程、イエス様の苦しみに与る事を知ってもっと深くイエス様と結ばれます。